

江別市消費者被害防止 ネットワークニュース No.13

【事務局】江別市消費生活センター

〒067-8674 江別市高砂町6番地 江別市役所第2別館 電話011-381-1026

【消費者被害防止ネットワーク会議】

11月29日（水）、江別市勤労者研修センターにおいて令和5年度消費者被害防止ネットワーク会議を開催しました。当日は江別警察署生活安全係長の松田様に「特殊詐欺の被害に遭わないために」についてご講演いただきました。

令和4年度の道内の被害状況は、特殊詐欺認知件数308件（前年比168件増）、被害額約10億2,397万円（同6億4,363万円）と前年度に比べ大幅に悪化しています。また、令和5年度に入ってから江別市内でも被害が相次ぎ、認知件数6件、被害金額は490万円となっています。被害に遭わないために、警察相談電話「#9110」への相談や、留守電の活用、電話防犯機器等の設置が効果的とお話いただきました。

続いて、江別市消費生活センター中田相談員に「消費相談の状況について」と題し、ご講演いただきました。令和4年度にセンターに寄せられた相談件数は644件。相談内容は通信販売に関する相談が一番多く、最近では定期購入に関するトラブルや相談が増えています。また、老人ホームの入居権を語る詐欺や不必要な灯油タンクの洗浄を迫る訪問販売などに気をつけて欲しいと実例を交えてお話いただきました。

また、日頃受ける相談の中で、相談者の会話から認知機能の低下が疑われるケースもあるとのことでした。ネットワーク間における情報共有が大切な事例と思われます。ネットワーク間での情報を密にし、詐欺被害を未然に防ぎましょう。

特殊詐欺被害にあわないために（江別警察署生活安全課より）

☆お金を「送る・手渡す・振り込む」前に相談しましょう。

お金の話は1人で決めずに、家族や警察等に話をしてください。

☆詐欺の手口に関心を持ちましょう。

「詐欺のニュースや記事」を見て知識をつけることで、詐欺に気付きやすくなります。

☆留守番電話を活用しましょう。

在宅時でも留守番電話に設定しておき、相手を確認してから電話に出ると、犯人と会話せずにすみます。話をしなければだまされることもありません。

☆電話防犯機器が効果的です。

通話内容を自動録音したり、警告メッセージ機能がついた電話防犯機器は被害防止に効果的です。

